

平成29年度 空き家活用リフォーム推進事業（住替え活用タイプ全体） アンケート結果の概要

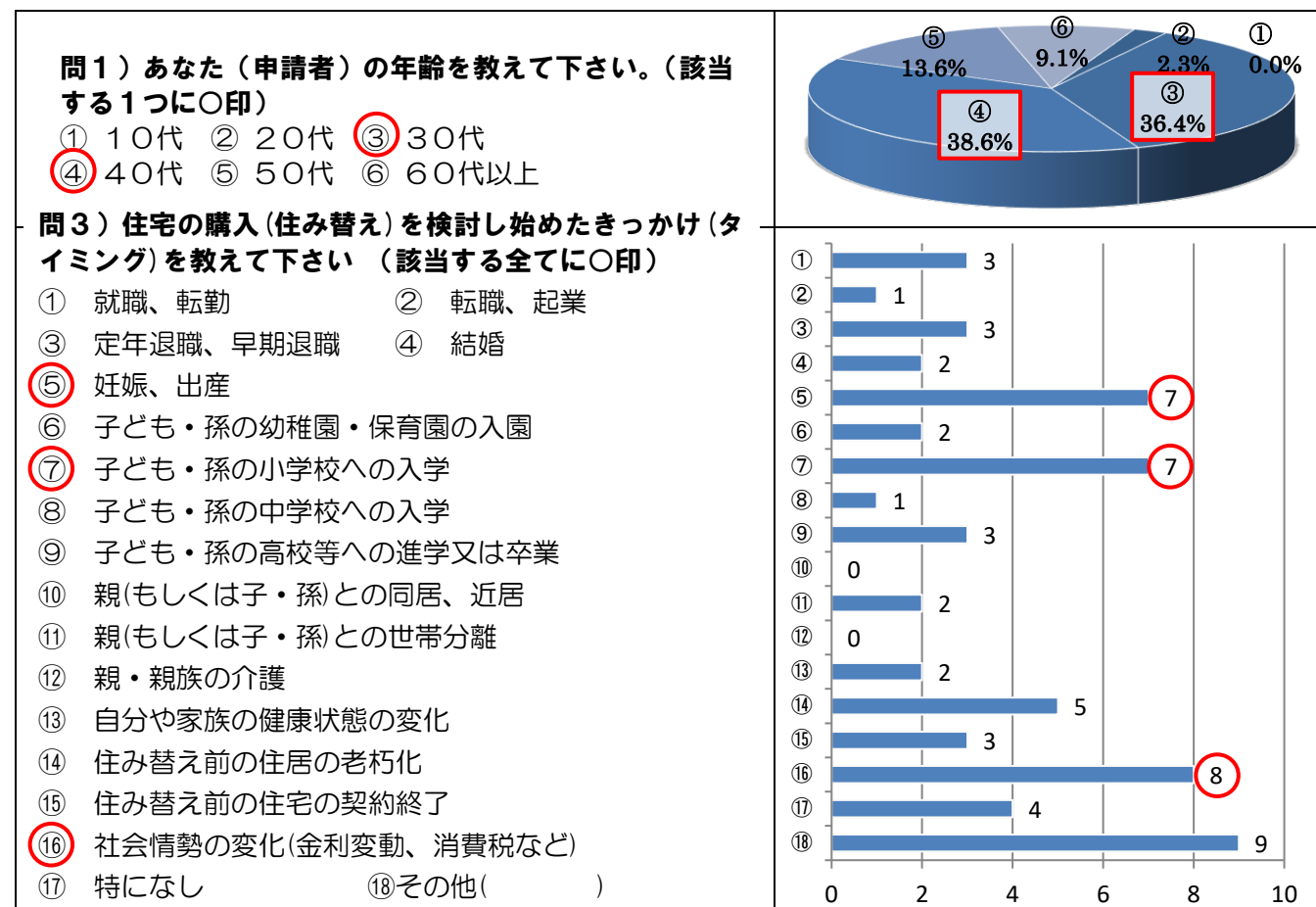
1. 調査の概要

対象	住替え活用タイプの申請者
調査期間	平成30年2月19日～平成30年3月31日
調査方法	無記名のアンケート調査票の郵送による
配布数	70通
回答数	44通 (回答率: 62.8%) 内数: 子育て19、高齢者等3、障がい者1、一般5、マンション16

2. アンケート結果の概要

①事業を利用した申請者の状況

・最も多い申請者の年代は40代(約39%)、次に多いのは30代(約36%)で、計75%
 ・空家(中古住宅)購入のきっかけとなった事象で最も多いものは、「その他」を除く「社会情勢の変化(金利変動、消費税など)」(8件)で、次に多いのは「妊娠・出産」・「子ども・孫の小学校への入学」(7件)であった。



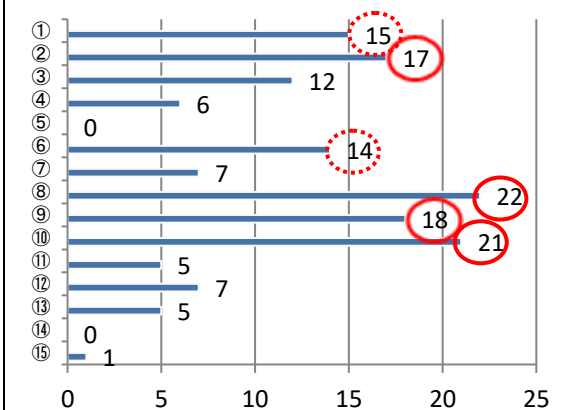
②補助対象となった空き家(中古住宅)及び立地の状況

・住宅を探す(購入する)際に、立地の上では交通の利便性(22件)や、通勤・通学(21件)、買い物(18件)等の利便性の良さを重要視して選んだ方が多かった。次いで、親族・友人との距離や学校区、住環境を重視する傾向があった。

・築年数は「築10年～築35年」の程度のもが多い(合計約82%)
 ・新築ではなく中古住宅を選択した理由は「予算的に手頃だったから」(35件)と、「リフォームによって快適に住めると思ったから」(29件)が多い。

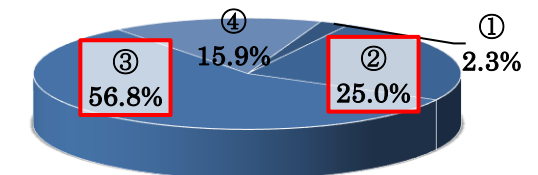
問6-2. 住宅を探す(購入する)際、立地の上で重視した点は何ですか?(該当する全てに○印)

- ① 学校区 ② 親族、友人の家との距離、または行きやすさ
- ③ 閑静な住宅地であること ④ まちなかであること
- ⑤ 伝統的な街並み、史跡があること
- ⑥ 日照、通風、騒音、眺望などの周辺環境
- ⑦ 公園や緑、水辺などの自然環境 ⑧ 交通の利便性
- ⑨ 買い物の利便性 ⑩ 通勤、通学の利便性
- ⑪ 公共施設、文化施設の利便性 ⑫ 医療機関、福祉施設の利便性
- ⑬ 犯罪に対する安全性 ⑭ 特になし ⑮ その他



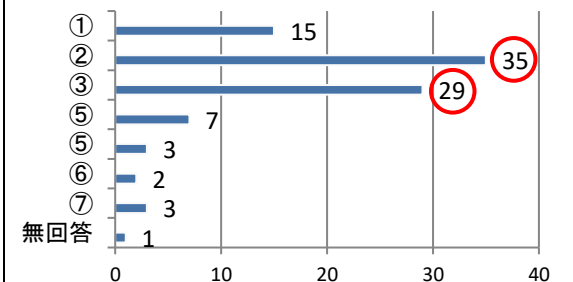
問9. 今回購入された住宅の築年数を教えてください。(該当する1つに○印)

- ① 築10年未満 ② 築10年～築20年
- ③ 築21年～築35年 ④ 築35年超 ⑤ 不明



問12. 今回、新築ではなく中古住宅を購入された理由は何ですか?(該当する全てに○印)

- ① 新築にこだわらなかったから
- ② 予算的に手頃だったから
- ③ リフォームによって快適に住めると思ったから
- ④ 住みたい地域に、適当な敷地・新築住宅がなかったから
- ⑤ 早く入居できるから
- ⑥ 入居するまでの労力が少ないから ⑦ その他()

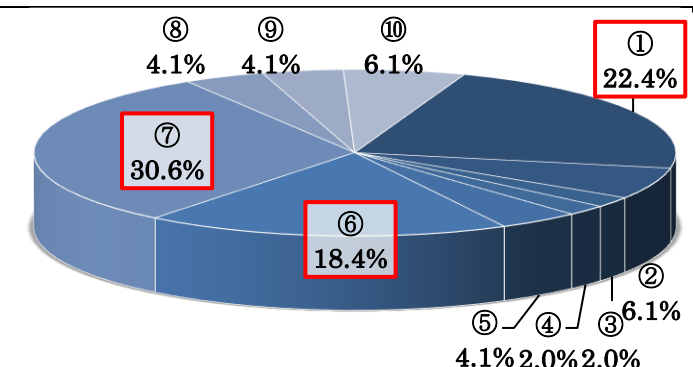


③新潟市の補助金制度について

・補助金制度を知った方法として最も多いものは「工業者から聞いた」(約31%)で、次いで「市ホームページ」(約22%)、「不動産業者から聞いた」(約18%)。
 ・住宅購入やリフォームにあたり、約80%の方が、補助金が後押しとなったと回答した。

問17. 空き家活用リフォームの補助金を最初に知った方法は次のどれですか?(該当する一つに○印)

- ① 市ホームページ ② 市報にいがた
- ③ 市役所や区役所窓口担当者から聞いた
- ④ 市作成のチラシ ⑤ 親族、知人から聞いた
- ⑥ 不動産業者から聞いた
- ⑦ 工業者から聞いた
- ⑧ 不動産業者や工業者の広告等
- ⑨ イベントなどに行って話を聞いた ⑩ その他



問18. 住宅の購入やリフォームにあたって、本補助金が後押しになりましたか?(該当する一つに○印)

- ① 後押しとなった
- ② どちらかと言えば後押しとなった
- ③ あまり影響はなかった

